

## 社会福祉法人あおば福祉会

## おひさま岡町保育園

## 2018年度（第19年度）事業報告

## はじめに

2018年度は『災害』の多い年度でした。6月18日大阪北部地震・9月4日台風の直撃があり、園舎の被害があっただけではなく保育への影響がありました。地域の停電が長引き、翌日も臨時休園を余儀なくされました。また、台風からほぼ1ヶ月たった後であるにもかかわらず、うんどう会の3日前の夕方になって、会場としている轟木公園の使用ができなくなりました。（台風被害にあった鉄塔を撤去する工事）日程を1日遅らせ、市の協力を得て近隣の公立こども園の園庭をお借りして無事に行うことができましたが、当たり前のように行えると思っていることができなくなる不安に揺さぶられました。

自園にはホールや広い園庭がなく、園庭として公園を指定しています。その公園も他園と共存です。日々、工夫をしていますが、安心して保育ができるようにという思いはますます強くなり、こどもたちがいつでも伸び伸びと活動できる空間を保障したいという願いはつきません。こどもたちを安心して安全に保育ができるよう保護者・保育者と考えあった1年でした。

## 1 子どもの入園状況

定員：90名

年齢	定員	支援児 障害児	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0歳児	9名	内0名	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	15名	内0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	15名	内0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
3歳児	15名	内0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	19名	内0名	17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	202
5歳児	17名	内3名	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	90名	内3名	87	86	86	87	87	87	87	87	87	87	87	87	1222

## 一時保育事業

利用年齢	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0歳児	11	12	12	12	11	11	12	13	12	12	10	12	140
1歳児	7	11	21	33	12	16	30	32	31	28	29	28	278
2歳児	16	4	4	6	4	3	4	4	4	3	3	4	59
3歳児以上	6	0	2	4	0	0	1	0	3	0	4	6	26
利用延べ人数	40	27	39	55	27	30	47	49	50	43	46	50	503

## 2 保育体制と職員の状況

民間給与改善費適用＝一人当たり平均 9 年  
平成30年度4月1日現在 平均年齢 30 歳

正規職員・・・ 14名

園長 1・副園長 1・主任 2・保育士 8・栄養士 2

パート職員・・・ 26名

・常勤パート職員・・・9名 看護師 2名 保育士 7名  
・短時間パート職員・・・17名 看護師 1名 保育士 6名 調理師 2名 保育補助 7名 事務 1名

嘱託医・・・4名

内科 なんばこどもクリニック 難波 直樹 医師  
歯科 カワムラ歯科診療所 河村 忠成 歯科 医師  
眼科 谷口眼科 谷口 幸子 医師  
耳鼻科 かない耳鼻科 金井 龍一 医師

## 3 子どもの安全と健康・危機管理

6月18日の大阪北部地震では隣家との境のブロック塀にヒビが見られ、9月4日の台風では隣家の屋根が飛んできて、窓ガラスが割れた。門から玄関までのアプローチの屋根のカーポートも瓦で突き破られた。また、電線が断線したことにより停電。翌日も終日停電となり臨時休園をせざるを得ない状況となった。今後も大きな地震がいつ起こるかかわからないし、職員がそろわない時間帯に災害が起こるかもしれないので、災害対策委員（管理職および専門リーダーを中心に）をつくり、鍵の所在や、近隣職員の協力を得て対応できるような仕組みづくりに着手した。

分園では、建設時の工事不良が原因で床下に大量の水がたまり、水抜き工事と給食室の床暖房の張り替え工事等を行った。（初期不良のため、費用はかからない）

子どもたちが心身ともに元気にたくましく育ててほしいという願いのもとに保育を考えているが、手狭な園の環境も関係するのか、ケガ（特に口元）が多かった。歯に関する事なので、用心をして受診していることもあるが、転んでも手がでにくく、顔（口元）を打つという状況を改善できるように、身体づくりなど見直しを園全体で考えた。大きなアクシデントに発展するまでに多数のヒヤリハットがあるという認識のもとに、ヒヤリハットを書きだし、職員で閲覧できるようにして、『再発防止』であることを再認識できるようにする。

※ヒヤリハットの件数は本園が 142 件分園が 61 件 合計 203 件上がっている。

AED 救命救急は毎年春に消防署より講習会に来てもらい職員全員対象で行っている。午睡中のこどもの変化にも気づけるよう、声をかけあい、変化に即座に対応できるような力をつけてきた。

## 4 保護者の願いに応え、子どもと共に育ちあう関係を大切に！

クラス懇談会では、クラスの保護者同士の交流ができるよう心掛けている。また、きらきらまつりなどの行事を通し、ちがうクラスの保護者とも仲良くなれる機会をつくっている。園舎は離れているが、親子で楽しむ機会が休日にあることで、保護者同士、顔を合わせたり、話す機会になっている。

また、保育参観・保育参加・うんどう会や、リズム参観、生活発表会などを通し、子どもたちの成長を保護者に観てもらえる機会を持つことで、わが子だけでなく、全体の子どもに目を向けてもらえる保護者になってもらえるよう働きかけている。保護者集団が出来ているクラスほど、わが子以外に声をかけている保護者が多く感じるので、どのクラスも保護者集団も高まるよう、働きかけてきた。

地域の方に園を知ってもらうため、園のパンフレットも新調した。2019年度春に出来上がる。

## 5 子ども達が地域の中で育つことを大切にしたい地域活動をめざして

地域の民生委員さんとながら、敬老のつどいやうんどう会の見学に来ていただいている。また、独居老人のクラブ『さくらの会』を年2回、お食事会に来ていただいている。保育園とながら、地域に散歩に出かけたときなど、挨拶したり、声をかけてくださることで、見守りにもなっていくので貴重なつながりであると思っている。分園の近隣の方も、絵本をたくさんとどけてくれ、地域に保育園があるということが位置づいてきたことを嬉しく思う。

## 6 職員の資質向上をめざして

子ども理解や発達を学ぶため講師を招いての保育観察と集団討議（年4回）や、表現活動でも公開保育と集団学習（年4回）を行った。自分たちの保育を振り返る良い機会となり、学ぶ意欲につながっている。また、中堅保育士がリードしながらリズム運動をみんなで行う自主研修も行っている。

園外の研修では全国の熱い思いに触れられた。

保育学校や豊中市、こども財団主催の研修にも随時出かけている。

## 7 中長期計画に関して

乳児園だった本園が開園して18年が過ぎる中、定員変更もあり（2001年度30名・2010年度50名・2014年度90名定員）、幼児の人数も増えたが、開園当初より乳児を多く預かるようになった。そのため、バギー置き場を整備した。また、1歳児たんぽぽぐみの部屋にはトイレも水道もないため、今年度の予算で水道を設置する見通し進んでいる。

人材育成について、何より長く働き続けられることを目標とし、経験を重ねた職員もキャリアパス研修を受け中堅保育士の役割を考えたり、あらためて保育の中で大切にしたいことを明確にしている。適材適所にそれぞれがいきいきと働き続けられるようにという願いを持って過ごしてきた。結果的に、多くの職員が次年度も働き続けることとなり、嬉しく思っている。

## 8 保健業務報告

齲歯や口腔環境は大人による仕上げ磨きの重要性を伝えていくとともに、体重や身長も含めて考えることで園児を取り巻く環境を押し量って対応することが重要だと感じた。

インフルエンザに関しては、本園で急速に園児・職員ともに拡大はみられた。その際に、アルコールでの消毒、本園・分園の行き来を最小限にすることで分園への拡大は防げた。

事故事例に関しては、事故翌日～2日のうちにアクシデントレポートの周知を徹底した。結果、負傷事例が多かった翌月は負傷事例が減少した。

保育の中で子どもの動線を考えた誘導や、空間認識、などの発達をより意識して保育を進めていくことが負傷数の減少に繋がると考える。

## 9 その他添付資料

### 1. 地域活動報告

日程	参加人数	内 容	日程	参加人数	内 容
11/12	3人	ぽかぽか			
12/21	3人	ぽかぽか			
5/13	14人	高齢者お食事会			
12/2	14人	高齢者お食事会			
6/20	5人	さくらんぼ			
7/4	4人	さくらんぼ			
11/21	3人	さくらんぼ			
1/30	5人	さくらんぼ			